

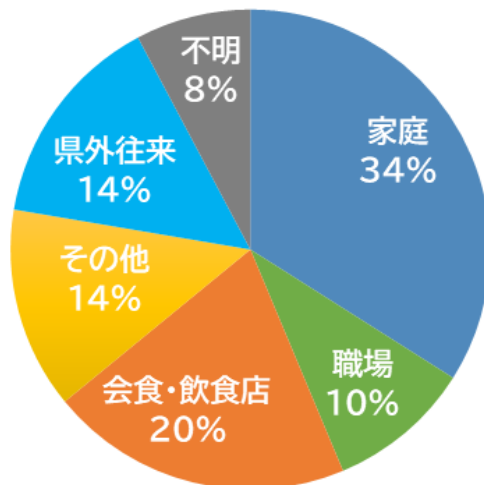
第6波における感染状況について

- 多くが県外往来を起因として、家庭内や友人との会食などマスクを着用していない場面で感染が拡大
- 約94%がオミクロン株（疑い含）（L452R変異株スクリーニング検査結果の割合）

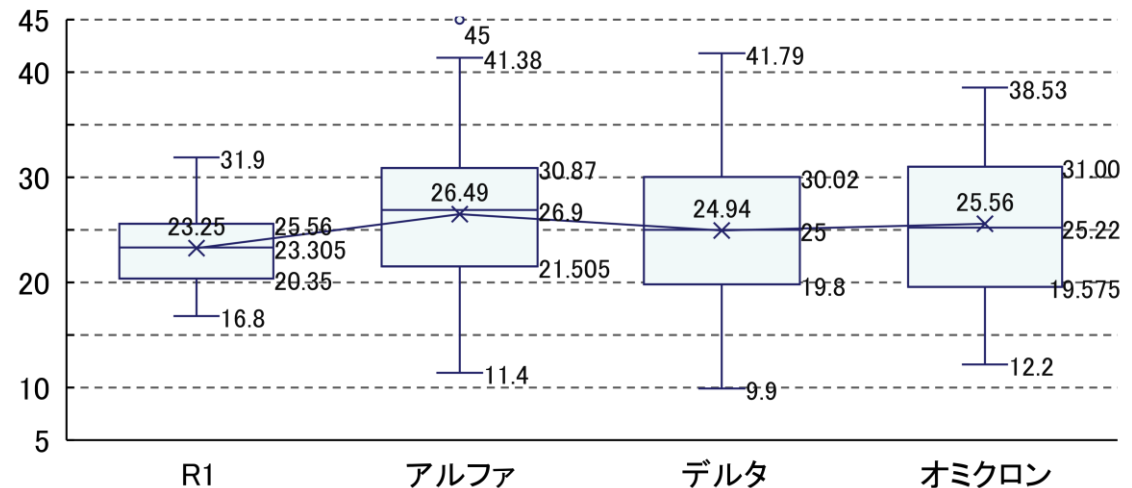
オミクロン株（疑い含）の特徴

- 感染から発症までの期間が約2～3日間と短い ⇒ 感染が速く広がる恐れがある
- 約9割に発熱や咽頭痛など風邪症状があり、高熱の発現もみられる
- Ct値は平均25.6でデルタ株と同等
- 現時点で重症、中等症Ⅱ（酸素投与が必要）の者なし（中等症Ⅰの者は2名）

推定感染経路（場所）

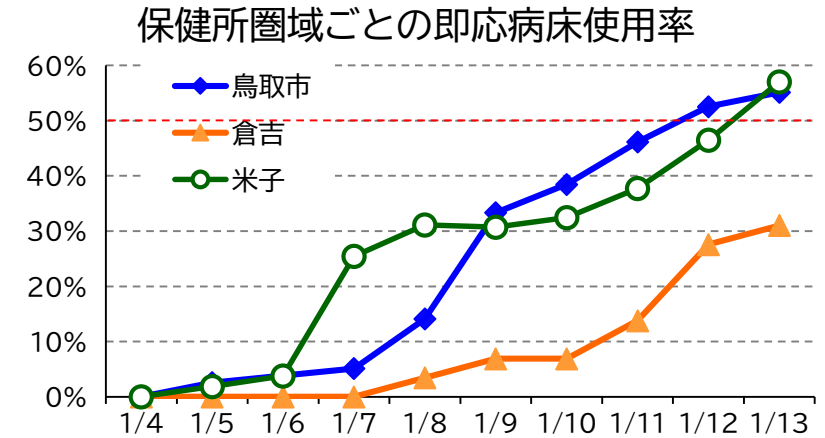
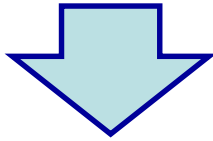


変異株別Ct値



新型コロナ警報(暫定版)の現状

- 県内全域で新型コロナ「警報」発令中
- 本日、県内全域に「オミクロン株感染警戒情報」を発令
- 一部の地域は、指標の一部が特別警報相当に達するレベル



「オミクロン株の感染スピード」と「軽症例の多さ」を踏まえ、
(無症状・軽症割合：98.6%)
病床ひっ迫を回避するため**鳥取方式 + α を開始** (メディカルチェックセンター運用開始
東部:1/13~、中部:1/11~、西部:1/12~)

<ポイント>

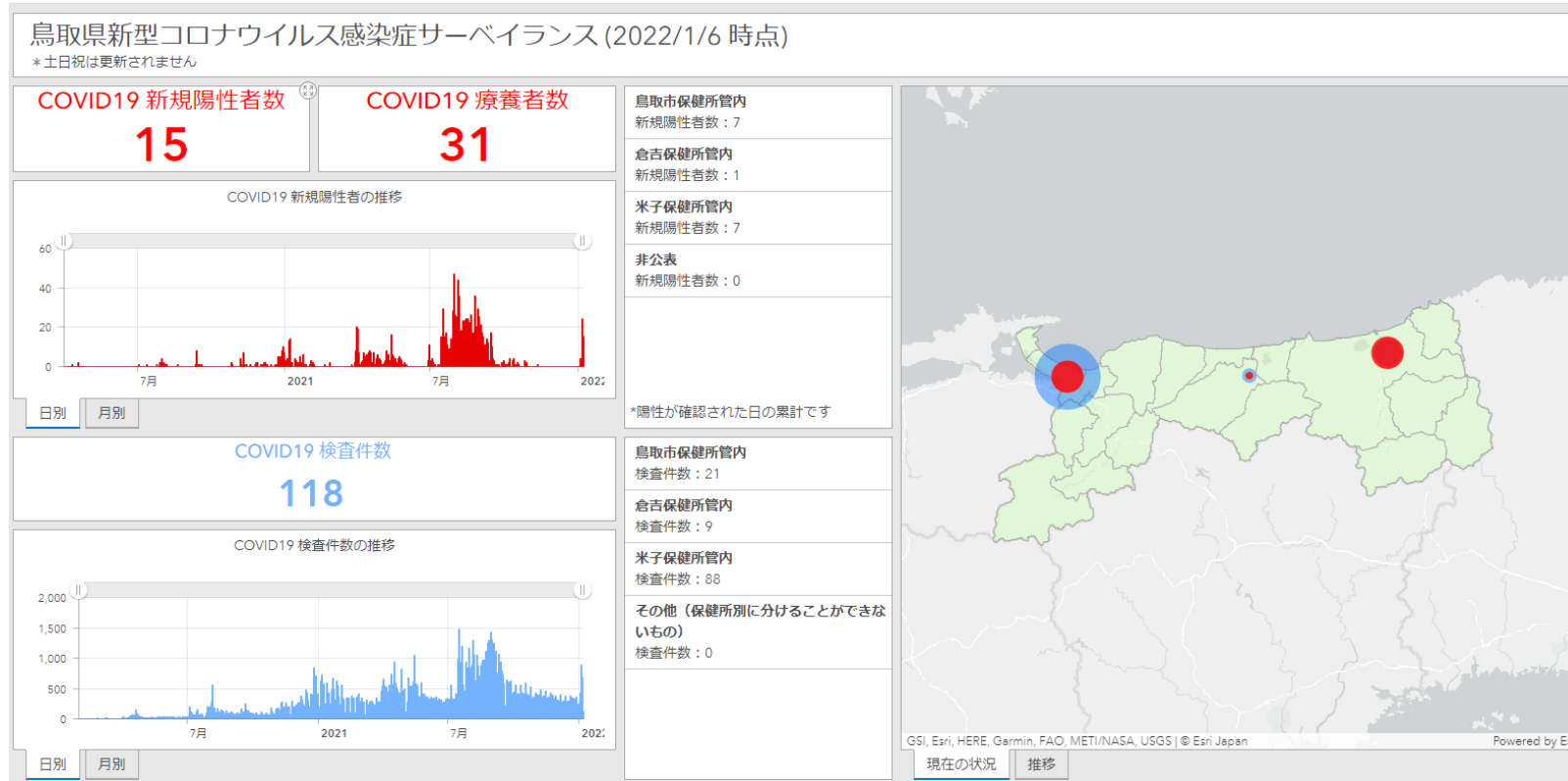
原則入院から

- ・入院者は**治療薬投与又は症状軽快後**、主治医及び保健所長の総合判断により、**早期に宿泊・在宅療養へ移行**
 - ・メディカルチェックセンターで病状評価後、入院を経ずに宿泊又は在宅療養
- ※高齢者・妊婦といった重症化リスクのある方は原則入院を継続

新型コロナサーベイランスデータによる情報発信

◎本日から地理情報システム(GIS)を活用したサーベイランスデータをウェブサイトで公開

【公開内容】 ①新規陽性者数 ②療養者数 ③検査件数



※陽性者数、検査件数は東部・中部・西部の各保健所管内別に表示
※2020年1月から現在までの陽性者数等の推移の閲覧も可能

→県民自らの感染対策の意識付けや医療機関におけるコロナ診断に活用していただきたい。

船舶における新型コロナ集団感染例を受けた県の対応

海上保安本部所属巡視船での新型コロナ集団感染例を受け、船舶を所有する県関係機関等に対して感染防止対策を徹底するよう指導した。

1 集団感染例の概要

- 陽性者数 計19名（1/10：11名、1/11：8名）
- 船舶内で感染が拡大したと強く推測される
 - ・船内の居住スペースは狭い
 - ・喫煙や倉庫での個人トレーニング中などにマスクを外す場面があった
 - ・入浴時に複数の者が同時に入っている

2 関係機関等への指導内容

- ガイドライン等に基づき感染防止対策を再度徹底する(密の回避等)
- 体調に不安があれば乗船しない
- 乗船前にPCR検査を行う

＜参考＞船舶を所有する県機関

- ・教育委員会：若鳥丸
- ・水産振興局：第一鳥取丸

■漁船については、1/12(水)付けで漁協を通じ所有者に上記内容等を通知

飲食店への緊急巡回点検の実施(1/11~14)

○1月を重点監視期間とし、県職員(延126名体制)で、県内繁華街の飲食店1,323店を対象に巡回点検を実施、感染防止対策の徹底を呼びかけ(不在店はポスティング・電話)

点検項目：会話時のマスク着用、ディスタンス確保、換気の徹底、手指消毒 等

○繁華街エリアを除く飲食店には、感染防止対策を徹底するよう、文書により通知

【緊急巡回点検の実施状況】 (1/11終了時点)

	1/11実施	1/12~14	計
東部 (鳥取市弥生町周辺エリア)	250店	318店	568店
中部 (倉吉市上井町エリア)	102店	32店	134店
西部 (米子市朝日町、駅前エリア)	206店	415店	621店
合計	558店	765店	1,323店

<1/11の点検結果>

- ・558店を巡回し、不在等を除く201店の点検を実施。
- ・認証店では、手指消毒、検温、パーティション設置等が適切に実施されている。
- ・マスク会食が守られていない飲食店があり、チラシにより店主に呼びかけを依頼した。

無料PCR等検査場所の拡大

感染不安を感じる方等に向けた無料検査場所を

当初23ヶ所 ⇒ **今週中に30ヶ所に拡大**

(東部圏域10カ所、中部圏域12カ所、西部圏域8カ所)



➤ **ご要望の多い“土日”も対応できるよう
民間の臨時PCR検査拠点が開設されます**



(東部1/15～、中部1/15～、西部1/14～ ※受付はいずれも1/13開始)

引き続き、県民の皆様が安心して無料検査を受けられるよう
検査場所を順次拡大(複数の機関から申請があり現在準備中)

(無料検査を受けていただく際のお願い)

- ✓ 無症状で感染不安を感じる県民及び本県への帰省者が対象です。(ワクチン接種・未接種は問いません)
- ✓ 症状のある方、陽性者の接触者の方は、かかりつけ医又は受診相談センターにご連絡ください。
- ✓ 無料検査可能な検査場所の詳細は県HPをご覧ください。(予約不要ですが、事前に電話で連絡をお願いします)

在宅療養者の健康観察・診療体制 ～重層的ネットワーク整備～

【一般的な体制】

- 保健所職員が中心となり健康観察
- 症状悪化時に医療提供調整



保健所と医師会、看護協会、薬剤師会が連携し、重層的な在宅療養支援体制を構築済

- 保健所内の「在宅等支援センター」が全体調整
- 訪問看護師による24時間健康サポート
- 医師の電話診療（症状悪化の兆候があれば速やかに調整）
- 鳥取方式安心投薬システム（調剤薬局と連携した医薬品処方）
- パルスオキシメーターの全戸配布

さらなる拡充策



- メディカルチェックセンターの代替の検討
- 経口治療薬の院外処方
(登録した81薬局のうち14薬局が配備済)
- 協力薬局薬剤師による健康サポート
- 対面診療、対面ケア
- 症状悪化時には臨時の医療施設での外来診療
- パルスオキシメーターの追加調達
(現在約500台+追加200台)

ワクチン接種の推進

<高齢者接種等の更なる前倒し>

- ・ 1・2月接種について、ワクチン配分状況をみながら、市町村、医療機関等と連携し更なる前倒しを推進
【1月前倒し市町村】1市町村（1/6時点） ⇒ 7市町村（1/12時点）に増加
- ・ 市町村支援として、追加接種に係る県営接種会場を開設するとともに、**一部を前倒しで開設**

<県営センター概要>

- ・ 東部（新日本海新聞社）・中部（倉吉シティホテル）・西部（米子しんまち天満屋）に2月に開設
→ **一部を前倒しして1月に開設**
- ・ 期日：1月29日（土）、30日（日）・場所：倉吉シティホテル・種類：モデルナ社製
- ・ 対象：鳥取県民（全県対象）※2回目接種完了後7か月以上経過の高齢者の方で接種券がある方（予約制）
- ・ 医療従事者について更なる前倒しを働きかけ（接種状況本県接種率1.03%、全国平均0.75%（1/11時点））

※1・2月の追加接種について、各都道府県大規模接種会場設置等を通じてペースアップを要請…総理発言

<一般接種・職域接種の前倒し>

- ・ 3月以降、追加確保したモデルナ1,800万回分を活用し一般分前倒し…総理発言
⇒ **3月の県営接種会場の接種回数を大幅に増やし、市町村の負担を軽減するなど円滑な前倒しを推進**
- ⇒ **職域追加接種についても前倒しできるよう実施主体の準備等を県が支援**

<小児接種の早期開始>

- ・ 地域の実情に応じた体制構築について調整が進んでいる
麒麟のまちでの連携（東部）、1市4町連携（中部）、小児科医の少ない町と市部との連携（西部）

職域接種会場登録
9会場⇒11会場（1/12時点）

⇒ **上記について、県、市町村、医療関係者と一体となって推進するため接種体制協議会を開催し協議（来週中）**

年度末に向けた事業者支援

<新たな応援金「コロナ禍再生応援金」申請受付スタート>

⇒ 申請件数: **243件**、申請金額: **38,500千円** (R4.1.12時点)

対象	「新型コロナ安心対策認証店」 として登録されている事業者 ※認証申請中の事業者からの申請も受付中
支給額	法人 20万円 、個人 10万円 (一律支給) ◎認証店加算あり(2店舗目以降、10万円×店舗数)
要件	売上 20%以上減少 ※令和2年11月～令和4年3月の間の任意の1年間の売上をコロナ前と比較
申請期間	令和4年1月5日(水)～5月27日(金)

<「新時代対応型事業展開支援補助金」の創設 (1月下旬より申請受付) >

支援機関とともに計画策定して進める新事業転換支援(補助率1/2、上限500万円)

<『経済対策予算ワンストップ相談窓口 (県内3箇所)』の強化>

- ① 応援金専用コールセンターの設置(部局連携で担当職員6名を配置)
- ② 県支援制度や国「事業復活支援金」など申請支援のため、専門家の個別相談体制(無料)を構築
(県社会保険労務士会・県行政書士会・中国税理士会県支部連合会と連携し、専門家が個別相談対応 ※完全予約制)

<観光需要喚起対策>

「#WeLove山陰キャンペーン」「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」の期間を、感染状況に応じて停止することを前提として、3月10日まで延長。

※ 当面の新規受付停止：広島県民は1月11日から。岡山県民は1月17日から。

鳥取県気候非常事態宣言

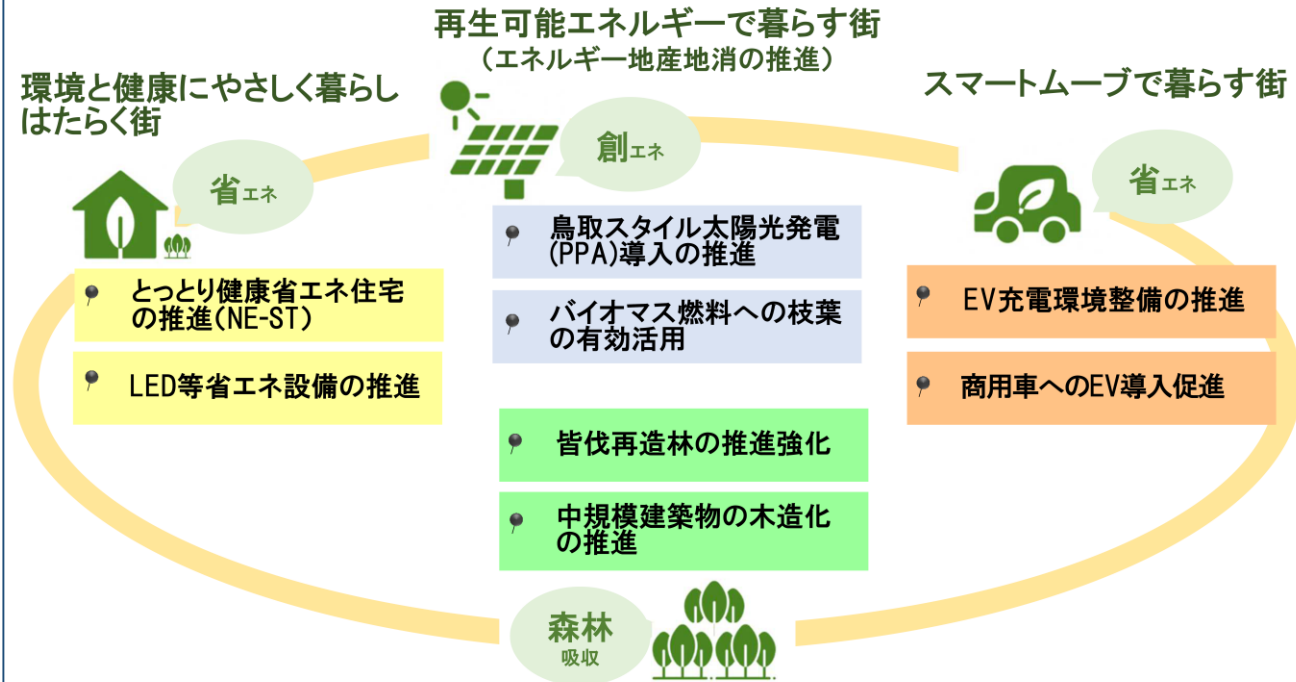
人類の活動が引き起こした気候変動の影響によって、鳥取県で土砂崩れ、大規模浸水、ため池決壊、農作物被害をはじめ、経済・社会活動やインフラに甚大な被害と大きな損失をもたらすに至っており、根本原因である深刻な気候変動に歯止めをかけることが急務だ。

このため、環境推進活動を展開し、再生可能エネルギーの活用、環境に優しく賢く住まうライフスタイルなどを精力的に推進し、2050年カーボンニュートラル実現を目指すべく、県民、事業者、行政など鳥取県の総力を挙げて行動を起こさなければならない。

よって、鳥取県は、気候変動が深刻な状況に立ち至っている認識を世界と共有し、このまま漫然と破局へ向かう選択ではなく、地球と人間が共存する持続可能な未来こそを選択するという決意を明らかにし、ここに「気候非常事態」を宣言する。

とっとりエコライフ構想

地球環境と健康を守りながら、快適に賢く住まうライフスタイルへの転換により、地球温暖化をストップ



2050年脱炭素社会の実現

年末の大雪の影響と緊急対応

12月25日以降、強い冬型の気圧配置となり、12月としては記録的な大雪となった。鳥取地方気象台は26日に「顕著な大雪に関する鳥取県気象情報」を初めて発表。
※智頭では12月最多の日最深積雪(73cm)を記録。(大山94cm、倉吉64cm、鳥取41cm)

1 道路・公共交通の確保

- 関係機関が早期から連携して対応。概ね良好に対応できたが、課題も得られた。

- ◆ 大型車両等によるスタックが発生。鳥取道では一時最大77台の立ち往生が発生した。
- ◆ 急な鉄道の運転見合わせが発生。県との情報共有が混乱したケースもあった。

→1/7に関係機関で対応を振り返り、今冬の対応の一層の強化を確認。

2 農林水産業への影響(被害額 約1億円)

- 農業用ハウス、畜舎などに被害、農作物は白ねぎの葉折れなどが発生

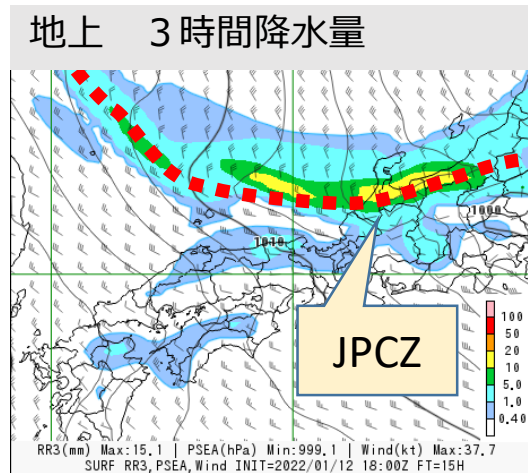
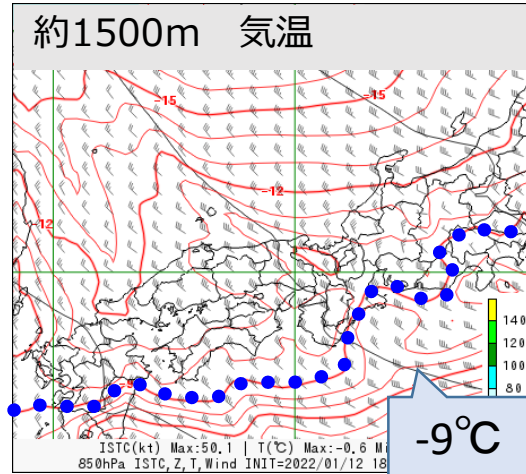
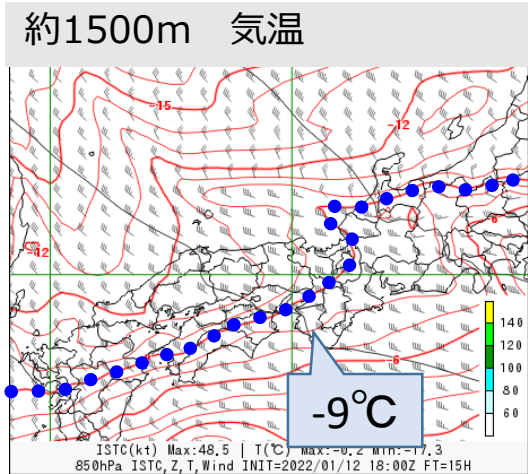
→災害復興調整費を活用し迅速な復旧を支援

<復旧支援策>

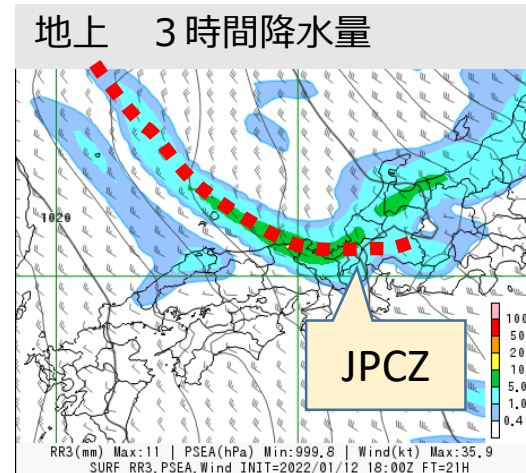
- 雪害園芸施設等復旧対策事業 園芸施設や畜産施設の復旧を支援(補助率:県1/3)
- 雪害農産物販売促進対策事業 通常の規格では販売できない野菜を規格外として販売する取組を支援(補助率:県1/2)

1月13日から14日にかけての降雪について

○1月13日夜から14日にかけて、警報級の大雪となるおそれがあります。



13日18時



14日00時

【鳥取地方気象台からの情報】

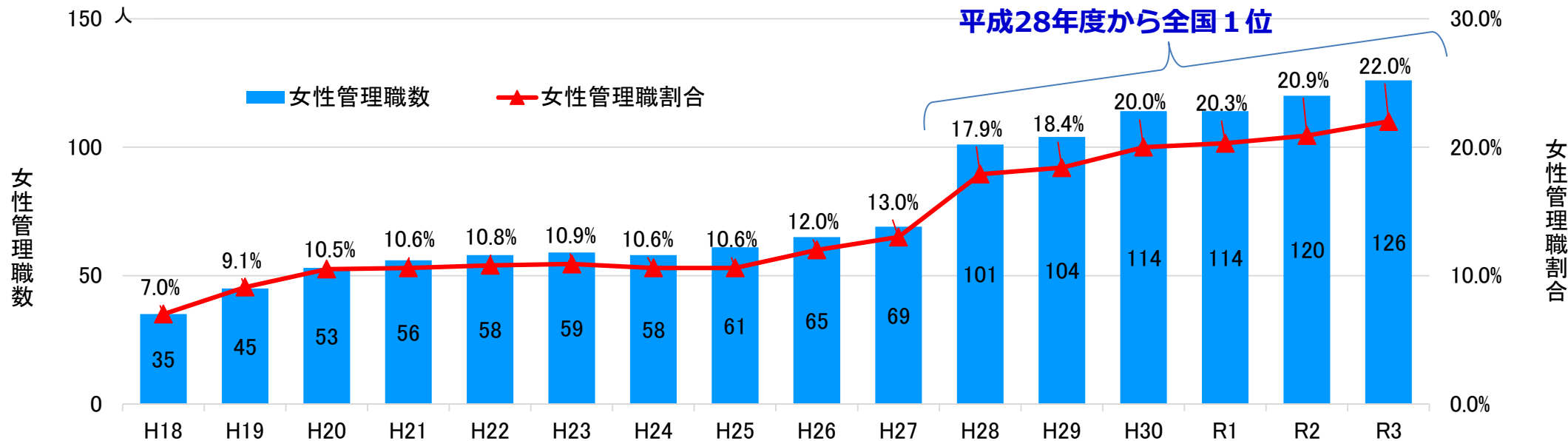
- ◆上空には強い寒気が流れ込む。
 - ◆JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）が、日本海から鳥取県に南下してくる。
 - ◆14日にかけて断続的に雪が降る。
 - ◆降雪のピークは13日夜から14日明け方。
 - ◆東部、倉吉地区の山地中心に降雪量が多くなる。
- 積雪や路面の凍結による交通障害や農作物や農業施設（ビニールハウス等）の管理などに注意してください。
 - 県外からの大型車両は広域迂回を検討してください。

女性活躍のトップランナー県

鳥取県庁の管理職に占める女性の割合 (R3: 22.0%)



6年連続全国1位



鳥取県庁の男性職員の育休取得率 (R2: 29.1%)



2年連続全国1位

日本女性会議2022in鳥取くらし

男女共同参画、女性活躍に関する国内最大級の会議(2,000人規模)が倉吉市で開催

テーマ Smile in くらし ～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

開催日 令和4年10月28日(金)～30日(日)

場所 倉吉未来中心 等

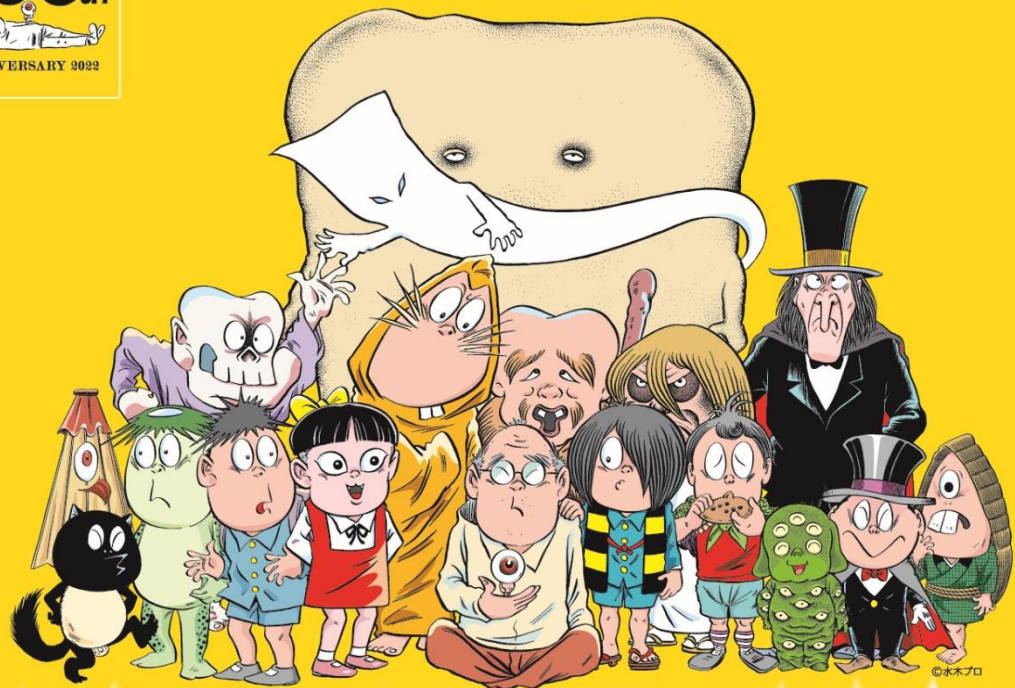
内容 倉吉らしいテーマの分科会を実施予定
(防災、ポップカルチャー、食と健康(ウォーキングと農業体験、民泊)、学生による企画 等)



日本女性会議
2022 in 鳥取くらし

県内の機運を高めるシンポジウムの開催等、県も会議の成功を応援

水木しげる先生 生誕100年



生誕100年 水木しげる生誕祭

MIZUKI SHIGERU 100TH BIRTHDAY FESTIVAL



お祝いタペストリー設置

1月16日 午後3時30分 水木しげる記念館前庭

水木しげる生誕祭

●セレモニー

3月6日 午前10時20分～
水木しげる記念館前庭

バースデーカード贈呈、バルーンリリース

●トークイベント

3月6日 午後2時30分～ 米子市公会堂
水木家スペシャル対談

スペシャルトークショー(VTR)

生誕100周年記念プロジェクト続報発表 など